

令和元年10月30日

報道関係者 各位

地域高規格道路「島原道路」建設促進大会の開催について

標記のことについて、下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

地域高規格道路「島原道路」建設促進大会

- (1) 日時 11月4日(月・休) 13時30分～
- (2) 場所 雲仙市吾妻町ふるさと会館 多目的ホール
- (3) 主催 島原市・諫早市・雲仙市・南島原市
- (4) 後援 長崎県
- (5) 目的

地域高規格道路「島原道路」は、半島特有の課題をもつ島原半島にとって、主要産業である農業・漁業の振興、観光等による地域間の活性化、緊急医療体制への支援道路、災害時の代替道路としての役割など、まさしく生命と暮らしを未来につなぐ極めて重要な道路であります。

現在、5区間の整備が進められており、令和2年3月には諫早インター工区の供用が予定されていますが、未だ全線完成の見通しがたっていない状況です。

このため、事業中区間の早期完成と残る未着手区間(島原市有明町～雲仙市瑞穂町間)の新規事業化が図られるよう、地域の実情をこれまで以上に強くアピールしていかなければなりません。

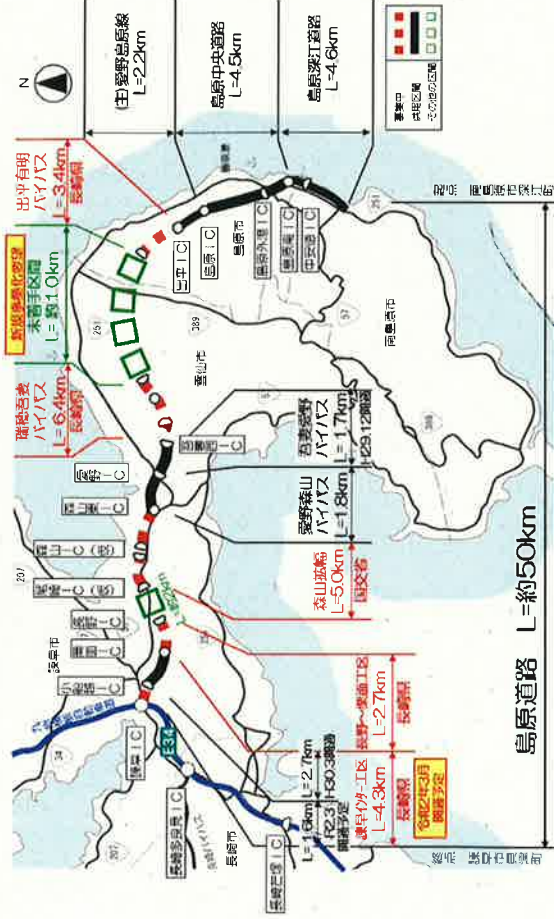
そこで地域高規格道路「島原道路」全線の早期完成を目指し、住民と沿線自治体が協力し、力強く行動していく決意の表れとして建設促進大会を開催します。

- (6) 出席者 県知事、国会議員、県議会議員、国土交通省等 約400名を予定
- (7) 式次第 別紙のとおり

担当：雲仙市 監理課 建設総務班 担当 山本  
電話：0957-38-3111 (内線 2512)  
E-mail：kanri@city.unzen.lg.jp

## 「島原道路」全線の早期完成をめざし、次の事項を求めます！

1. 事業中5区間の事業促進
2. 島原市有明町～雲仙市瑞穂町間の来年度の新規事業化



### ● 島原道路の効果

- 所要時間の短縮：諫早ICから南島原市深江町までの所要時間90分から40分に短縮⇒物流・交流促進による産業の振興  
⇒緊急医療体制の確保
- 災害時の代替道路：災害時に緊急避難ルートとして活躍
- 国道57号、国道251号及び広域農道の渋滞が緩和

### 【建設促進大会会場のご案内】

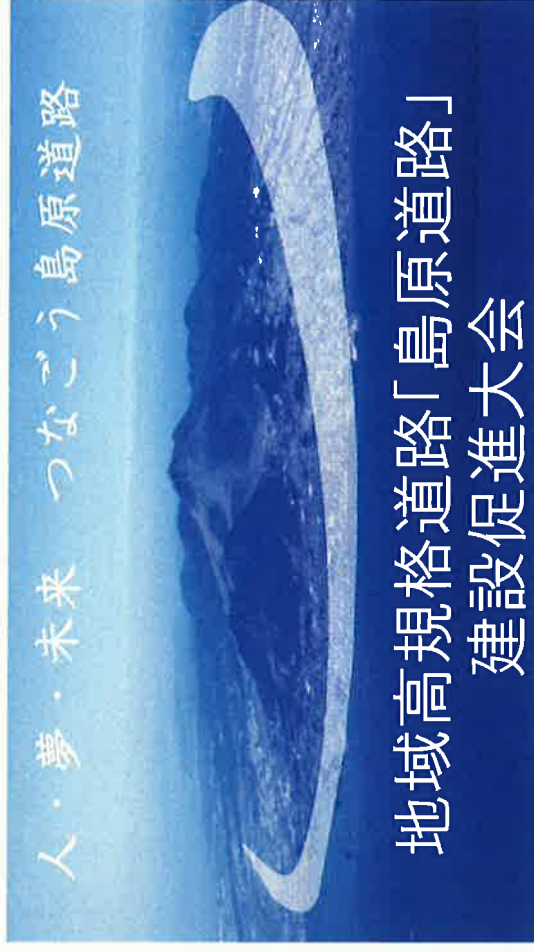


■問い合わせ先 地域高規格道路「島原道路」建設促進大会事務局

〔雲仙市建設部監理課

TEL:0957-38-3111(内線)2512〕

## 早期完成を目指そう！ 地域高規格道路「島原道路」



地域高規格道路「島原道路」は、半島特有の課題をもつ島原半島にとって、主要産業である農業・漁業の振興、観光等による地域間の活性化、緊急医療体制への支援道路、災害時の代替道路としての役割など、まさしく生命と暮らしを未来につなぐ極めて重要な道路であります。現在、5区間の整備が進められており、令和2年3月には諫早インター工区の供用が予定されていますが、未だ全線完成の見通しがたっていない状況です。

このため、事業中区間の早期完成と残る未着手区間の新規事業化が図られるよう、地域の実情をこれまで以上に強くアピールしていかねばなりません。

そこで地域高規格道路「島原道路」全線の早期完成を目指し、住民と沿線自治体が協力し、力強く行動していく決意の表れとして建設促進大会を開催します。

### ■日時

令和元年11月4日(月・休) 午後1時30分～

### ■場所

雲仙市吾妻町ふるさと会館 多目的ホール  
長崎県雲仙市吾妻町牛口名537番地1

■主催：島原市、諫早市、雲仙市、南島原市

■後援：長崎県

# 式次第(案)

## 大会決議

### 1. 開会

島原市長

古川

隆三郎

### 2. 主催者挨拶

雲仙市長

金澤

秀三郎

### 3. 後援・来賓挨拶

長崎県知事

長崎県議会議長

参議院議員

参議院議員

参議院議員

長崎県議会議長

国土交通省九州地方整備局道路部長

法道

寛治

原二郎

友一郎

光之

和秀

### 4. 来賓紹介

### 5. 事業経過及び現況報告

### 6. 地元意見発表

### 7. 決議

### 8. ガンバロー三唱

### 9. 閉会

我々の地域高規格道路「島原道路」は、九州横断自動車道や建設中の九州新幹線西九州ルートと連結し、有明海を隔てて対峙する九州縦貫自動車道、九州新幹線鹿児島ルートを結ぶ、高速交通ネットワークの一翼を担う道路であると考える。

「島原道路」が全線開通すると、諫早インターから南島原市深江町間の所要時間が90分から40分に大幅に短縮されるとともに、定時性が確保されることから、その効果は、島原半島の主産業である農業においては、市場拡大と取引増大が期待され、また、広域交流の促進によって観光の活性化についても確信しているところである。また、半島特有の課題を持つ島原半島にとっても、県央地域との緊密な連携により、生命線ともいえる医療や教育、福祉分野において道路ネットワークが構築されるとともに災害時の代替道路が確保されることとなる。

「島原道路」は、まさしく「夢の道」であり「命の道」である。

現在、国土交通省と県が分担し、5区間の整備が進められているところであるが、約50kmのうち、完成しているのは僅か17kmであり、島原市有明町から雲仙市瑞穂町間と諫早市内の一部の区間は、未だに未着手区間となっている。

高速道路のネットワークは、全線が繋がってこそ、その効果が最大限に発揮されるものであり、我々は、「島原道路」の全線早期完成を目指し、その整備が計画的かつ確実に推進されるよう、地域及び関係団体の総意と熱意を結集し、次の措置について決議する。

一、地域高規格道路「島原道路」全線の早期完成を図ること

一、現在整備中の5区間の事業促進を図ること

一、島原市有明町～雲仙市瑞穂町間の来年度の新規事業化を図ること

一、道路整備のための安定的な財源の確保と予算の重点配分を図ること

以上、決議する。

令和元年11月4日

平成29年12月開通した吾妻愛野バイパス

令和2年3月開通予定の諫早インター工区



諫早市長 宮本 明雄  
※敬称略

雲仙市議会議長 元村 康一

南島原市長 松本 政博

国見高等学校 村里 永遠

長崎県島原振興局 中村 泰博

九州地方整備局 和秀